

第12回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会の開催

平成19年1月16日(火)に那覇市水産会館において約180名の参加者により、第12回青壮年・女性漁業者交流大会が開催された。(従来の交換大会から交流大会に変更)

青壮年からは久米島漁業協同組合青壮年部の田端裕二氏が「故郷の海で生きていくために」と題して、モズク養殖のかたわら、若いメンバーを中心に追い込み網を使いやすいよう工夫改良して追い込み網漁業を取り入れたことを報告

伊良部漁業協同組合小型船主会の伊良波淳世氏は「マグロのヤケ対策Ⅱ」と題して、主に平成10年以降のパヤオ周辺海域で漁獲されるマグロの鮮度保持に関する手法について報告。

女性部からは伊江村漁業協同組合女性部の新垣守世子氏が「地域と共に歩むイーハッチャー女性部」と題して、漁協女性部が運営する2ヶ所の直売店を中心とした女性部活動状況について報告が行われた。

今年も沖縄県立水産高等学校から「漁師になる」と題して海洋技術科2年前田航君・梅原滝君の両名により体験発表が行われた。

実績発表は伊良部漁業協同組合小型船主会の伊良波淳世氏「マグロのヤケ対策Ⅱ」が最優秀賞に選定された。(発表内容の詳細については第12回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会冊子を参照)

また、同会場において今帰仁漁協の上原康之氏に指導漁業士として漁業士認定証授与が行われた。

平成19年3月7日～9日に第12回全国青年・女性漁業者交流大会が東京で開催された際に伊良部漁協の伊良波淳世氏は沖縄県代表として東京に派遣され、漁業経営改善部門の中で「マグロのヤケ対策Ⅱ」の題名で発表したが残念ながら入賞にはいたらなかった。



県知事賞受賞の伊良波氏



久米島漁協 田端氏



伊江漁協 新垣氏



水産高校 前田君・梅原君